



# もりや仙一郎便り

県政報告  
Vol.37

子育て・農業・観光について質問 県議会12月定例会

## 県内の根本的課題を追求

### たくましい子どもの育成に向けた教育のあり方について

▼森谷仙一郎

私は様々な学校現場を視察し、学校評議員制、キャリア教育など、いろいろな取り組みを聞いたが、一人ひとりを尊重するあまり、困難な課題に向かっている「たくましさ」が薄れているのを感じた。

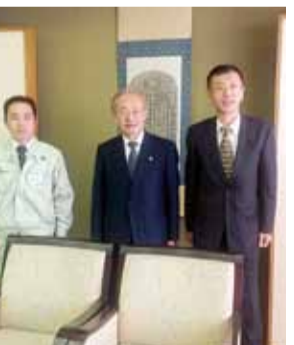
以前の子どもたちと比べて、食べ物なども与えられ、必要だと考える。

個人の尊重は教育における重要な要素だが、

「たくましい子ども」を育成する教育のあり方について教育長の考えを伺いたい。

▼教育長

少子化や核家族化に伴い、日常生活の中で兄弟や地域の子どものちと切磋琢磨する経験が不足がちであるなど、子どもたちを取りまく環境が変化してきていると認識している。



▲菊池市長(中央)と高橋好治さん

天童市の姉妹都市・宮城県多賀城市へ12月2日、天童市上下水道事業所より震災復旧と復興支援の派遣職員と高橋さんも何らか現場を訪れており、当時の

中山間地域の学校では全校児童が100名程度で、慣れ親しんだ仲間と環境の中で9年間過ごし、巣立つ。高校・大学・社会人へと進むなか、環境変化に萎縮してしまふ事例も多い。

本来自どもたちは、強い向上心や挑戦意欲を持っており、その力を十分に発揮させるために、意図的に「困難・失敗・挫折・試行錯誤・成就」などの体験を積み重ねることが大切。

宮城県多賀城市へ12月2日、天童市上下水道事業所より震災復旧と復興支援の派遣職員と高橋さんも何らか現場を訪れており、当時の

### 一般質問内容

- 今号では一部抜粋して紹介します。
- 1 たくましい山形の子どもの育成に向けた教育のあり方について
- 2 人口減少の著しい地域における振興策について
  - (I) 過疎化の集落についての基本的な考え方について
  - (II) 交通の確保について
    - ①生活交通対策について
    - ②買い物弱者対策について
  - (III) 集落対策に関する県の対応について
- 3 山形空港における東京便の複数便化について
- 4 農林水産産業創工夫プロジェクト支援事業について

### 過疎化の進む集落をどうするか

▼森谷仙一郎

山形県は各市町村の人口減少が進むとともに、65歳以上の高齢者率が50%の「限界集落」の数が増えている。県内では91集落が限界集落だ。

私も実際、集落で実態調査を行なったところ、大半の世帯が老夫婦か一人世帯だった。

山形県は3世代同居率が一番高く、家族仲良く、親を大切にしている印象があるが、65歳以上の人口割合をみると、全国5番目とみることだ。私はこのような高齢者だけの世帯に支援策が必要だと考えている。荒廃を黙ってみているのではなく、様々な悩みに耳を傾け支援していくことが大事だ。

▼県知事

本県の国勢調査人口でピークだった昭和25年の約136万人から平成22年は約117万人に14%減、また、65歳以上の高齢者人口の割合は、戦後一貫して上昇し、平成22年は27.6%、県内の過疎地域に限って言えば、30.8%となっている。

### 山形空港 東京便の複数便化について

▼森谷仙一郎

山形空港は東京行1便と大阪行3便が就航している。東京便はことしの上・下期ダイヤとも50席の小型機で、搭乗率は70%程度。山形12時発、羽田14時25分発と、利用しにくい時

日本航空に対し複数便化の要望を行ってきた。また、2013年上期ダイヤからの羽田空港発着枠の拡大分として、日本航空に新たに3便の枠が配分されたので、山形空港利用拡大推進協議会・会長の山形市長が日本航空を訪問し、改めて要望を行った。

さらに、今回の配分とは別に、地方路線維持のために地域と空港への運動を山形県をあげて行う必要がある。そのため支援策を明確に示すことが必要だ。

## もりや仙一郎事務所

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログでこうして欲しい! ココが問題! 改善して欲しい...など 頂けると幸いです。

☎023-651-5539 FAX023-651-5549

〒994-0013 天童市老野森 3 丁目 4-17

もりや仙一郎

検索

新ホームページ <http://www.10016.jp/>

facebook 友達登録をお願い致します。



QRコードでアクセス

